

# 「海洋観光」に関する海事局の取組

---

国土交通省海事局  
平成27年2月

1. 外航クルーズの振興
2. 国内航路の活用・活性化
3. マリンレジャーの振興
4. 「海」や「海洋観光」への国民の関心の喚起

# 1. 外航クルーズの振興

## 1-1. 外航クルーズをとりまく近年の状況

- 我が国のクルーズ人口は長く横ばい。大きく成長している海外の情勢と乖離
- アジア諸国の経済発展により、アジアにおけるクルーズ利用者増加を受け、2013年より、海外船社が日本発着外航クルーズに参入
- これをきっかけに、我が国のクルーズ人口も増加。2013年の外航クルーズ人口は13.8万人(前年比14.8%増)と過去最高を記録

# 1. 外航クルーズの振興

## 1-2. 外航クルーズに関する施策

- クルーズシンポジウム
  - 外国クルーズ船の誘致、我が国クルーズ船のPR
  - 沖縄、福岡(2013年)、舞鶴(2014年)

【日韓クルーズ・定期旅客船活性化フォーラム】



プレゼンテーション

【「海フェスタ京都」外航クルーズシンポジウム】



ダイヤモンド・プリンセス船長の講演



パネルディスカッション

# 1. 外航クルーズの振興

## 1-2. 外航クルーズに関する施策

- 地方クルーズ振興協議会
  - 北海道、関西、中国、九州、沖縄の5地区
  - 船社、港湾、旅行会社、関係官庁等が官民一体で誘致方策を検討
- 日ASEANクルーズ振興戦略
  - 2014年11月合意
  - モデルルート開発、人材育成支援等を今後実施



第12回 日ASEAN交通大臣会合(開催地:ミャンマー)

## 2. 国内航路の活用・活性化

### 2-1. 国内航路と観光振興

- 船を日常の足としない多くの人にとって、乗船体験そのものが観光資源
- 船で行く離島の自然・文化の魅力
- 文化・芸術・自然豊かな多島海である瀬戸内海等、ポテンシャルの高いエリア

## 2. 国内航路の活用・活性化

### 2-2. 国内航路と観光振興

- ファムトリップ（体験航海）
  - 日本旅客船協会と日本旅行業協会が連携し、計7回実施
  - 神戸と湯布院を船でつなぐ（フェリーさんふらわあ）【2014年】



フェリーさんふらわあ



水陸両用観光船



湯布院

## 2. 国内航路の活用・活性化

### 2-2. 国内航路と観光振興

- 小学生運賃無料キャンペーン
  - 日本旅客船協会において、2013年より、こどもの日・海の日（祝）に小学生の運賃を無料とするキャンペーンを実施
  - 2014年は82事業者がキャンペーンに協賛し、参加

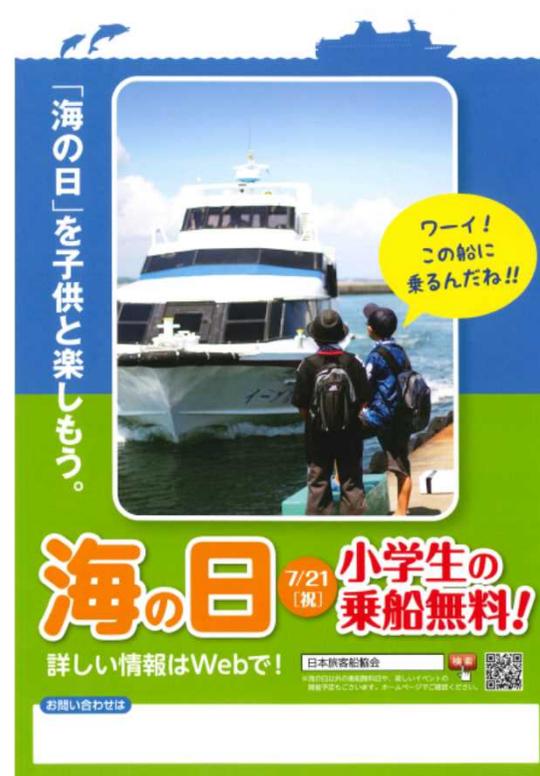


♪ 青い空と青い海。  
旅客船に乗って思い出つくりなう♪

こどもの日は **5/5 (祝)**  
**小学生 乗船無料!**

詳しい情報はWebでチェック! 日本旅客船協会

お問い合わせは



「海の日」を子供と楽しもう。

ワーイ!  
この船に  
乗るんだね!!

**海の日 7/21 (祝)** **小学生の  
乗船無料!**

詳しい情報はWebで! 日本旅客船協会

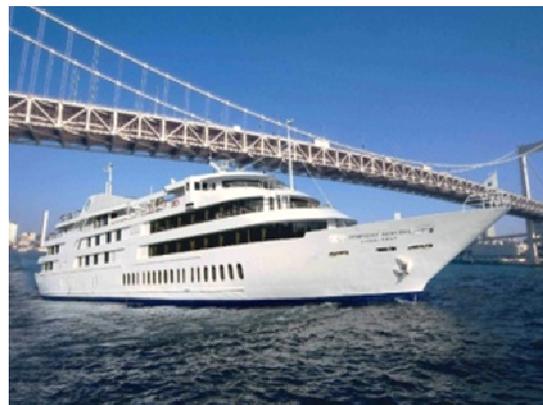
お問い合わせは

## 2. 国内航路の活用・活性化

### 2-2. 国内航路と観光振興

- 舟運活性化

- 舟運の魅力向上のための情報共有、意見交換の場として、「水のまち東京における舟運活性化に関する関係者連絡会」を開催。（平成26年2月設置。計3回実施）
- 観光需要増加への対応や、水辺空間及び舟運の情報発信等を促進



## 3. マリンレジャーの振興

### 3-1. マリンレジャーの傾向

- プレジャーボート等の総隻数は、若年層のマリンレジャー離れの影響等により漸減傾向
- プレジャーボート人口は、スキー・スノーボードの1/11（出典：レジャー白書2013）
- 一方で、直近では、小型船舶操縦免許新規取得者数が増加に転じる動きも

# 3. マリンレジャーの振興

## 3-2. マリンレジャーの取組

- UMI協議会
  - マリン関連16団体が参加し、平成20年に発足
  - 情報発信「UMIチャンネル」の開設や「東京湾大感謝祭2014」への出展など、各種取組を実施

### 参加団体

 Japan Sportfishing Association 公益財団法人 日本釣振興会 (公財) 日本釣振興会	 <b>JMIA</b> Japan Marine Industry Association (一社) 日本マリン事業協会	 <b>Maris</b> MARINE SPORTS FOUNDATION (公財) マリンスポーツ財団
 <b>JMRA</b> (一財) 日本海洋レジャー安全・振興協会	 <b>日本小型船舶検査機構</b> Japan Craft Inspection Organization 日本小型船舶検査機構	 <b>B&amp;G</b> (公財) ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
 一般社団法人 <b>日本マリーナビーチ協会</b> Japan Marina & Beach Association (一社) 日本マリーナビーチ協会	 七つの海をひとつに結ぶ <b>船の科学館</b> (公財) 日本海事科学振興財団	 <b>PWSA PW安全協会</b> パワフルウォータークラブ PW安全協会
 <b>JRDA</b> (公財) 日本レジャーダイビング協会	 <b>JJSF</b> JAPAN JET SPORTS FEDERATION 日本ジェットスポーツ連盟	 <b>NSA</b> NIPPON SURFING ASSOCIATION (一社) 日本サーフィン連盟協会
 <b>MJC</b> マリンジャーナリスト会議	 <b>海の駅ネットワーク</b>	 <b>JSAF</b> (公財) 日本セーリング連盟
		 <b>SUPA</b> 日本スタンドアップパドルボート協会
<b>オブザーバー</b>		
 <b>JEIS</b> 公益社団法人 日本船舶職員養成協会		
 公益社団法人 <b>日本海洋少年団連盟</b> Japan Sea Cadet Federation	 <b>笹川スポーツ財団</b> SASAKAWA SPORTS FOUNDATION	

# 3. マリンレジャーの振興

## 3-2. マリンレジャーの取組

### ● 海の駅

- 平成26年12月末現在で、全国に151駅
- 海からも陸からもアクセスできるマリンレジャーの拠点
- ヨット体験、海上釣り堀、食事やショッピングなど既存の施設・設備を活用



## 3. マリンレジャーの振興

### 3-2. マリンレジャーの取組

- ボートショーへの協力
  - 1962年に日本における初めての本格的規模のボートショーとして発足(主催(一社)日本マリン事業協会)
  - プレジャーボートやPWC等の展示や体験乗船などマリンレジャーをより楽しむための様々なイベントを実施



## 4. 「海」や「海洋観光」への国民の関心の喚起

### 4-1. 国民の「海」や「海洋観光」の理解度

- 海洋国家といわれる我が国だが、国民の海への理解は必ずしも十分ではなく、海は身近な存在となっていない
- こうした中で、「海洋観光」を振興していくためには、サービスを提供する取組だけでなく、国民の「海」や「海洋観光」についての理解を深めていくための働きかけが必要

## 4. 「海」や「海洋観光」への国民の関心の喚起

### 4-2. 国民の海への親しみ、理解の向上への取組

- 海洋観光・海を身近に懇談会

- 第1回を葉山マリーナ(平成26年9月)、以後、竹芝棧橋(同年10月)、飛鳥Ⅱ船内(同年12月)で開催
- 広く一般の関心を高めるため、懇談会の模様をホームページやFacebookで情報等を発信



葉山マリーナでのヨット体験



懇談会の模様



「飛鳥Ⅱ」の船内デッキを見学

海洋観光・海を身近に懇談会Facebookで公開中！！  
<https://www.facebook.com/umiwomidikanikonndannkai>

## 4. 「海」や「海洋観光」への国民の関心の喚起

### 4-2. 国民の海への親しみ、理解の向上への取組

#### • 第20回「海の日」行事

- 今年(平成27年)の海の日は、平成8年に祝日となって20回目
- また、今年は、IMO(国際海事機関)の「世界海の日」を加盟国巡回で周知する「パラレルイベント」も7月に日本で開催。テーマは「海事教育と訓練」
- このため、これを機会に、「海の日」前後の期間に、国民の海洋についての理解と関心を深めるとともに、国際的にアピールするための行事を、官民連携して実施する予定



## 4. 「海」や「海洋観光」への国民の関心の喚起

### 4-2. 国民の海への親しみ、理解の向上への取組

- 海フェスタ

- 今年は、7月18日～8月2日(16日間)に熊本県で開催
- 今年は、海の日制定20年目の節目の年となることから海洋についての理解と関心が一層深まる様々な事業を開催

海フェスタくまもと ～つなぐ ひろがる 有明の海～

#### 開催場所



熊本市



天草市



玉名市



宇城市



荒尾市



宇土市



上天草市



長洲町



熊本港